

1. 件名：ALPS 処理水海洋放出時の海域モニタリングにおける異常と判断する際の考え方に関する面談
2. 日時：令和5年2月3日（金）16時00分～17時00分
3. 場所：原子力規制庁 13階E会議室
4. 出席者：
原子力規制庁
放射線防護グループ
監視情報課
今井課長、細貝課長補佐
原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
竹内室長、正岡企画調査官、大辻室長補佐、松田室長補佐、塩唐松係長
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクトマネジメント室 松本室長 ほか3名（テレビ会議システムによる出席）
5. 要旨：
 - 原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下、「東京電力」という。）から、ALPS 処理水海洋放出時の海域モニタリングにおける異常と判断する際の考え方に関して、前回面談（令和5年2月1日）において共有した認識を踏まえ、東京電力が実施する海域モニタリングの内容について説明を受けた。
6. 資料：
 - なし